

今月号の内容

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. ベルギーの政治・社会動向 | 1 |
| 2. ベルギーの経済・産業動向 | 2 |
| 3. 月例経済指標..... | 5 |
| 4. EUの動向 JETRO ビジネス短信より | 6 |
| 5. お知らせ | 8 |

1. ベルギーの政治・社会動向

1 ベルギーの2023年の人口、1,170万人に到達

ベルギー統計局によると、2024年1月1日時点のベルギーの人口は、過去10年間の平均増加率(0.53%)を上回り、前年比0.57%増の1,176万3,650人となった。人口増加の背景は移民の増加であり、2022年ほど顕著ではないものの、ウクライナでの戦争の長期化が影響を与え続けているという。一方で、出生数と死亡数の差を示す自然増減数は、死亡数が出生数を上回った結果、マイナスとなった。自然増加数は、過去数年マイナスが続いており、新たなトレンドになっているという。(2024年6月4日)

2 フロン地域政府の連立交渉が開始、内閣発足

6月9日にベルギー全土で実施された連邦議会下院や地域議会などの総選挙後に実施されていた連立交渉の中で、フロン地域で第1党となった改革運動(MR、穏健リベラル)と第3党のコミット(Les Engagés、中道、旧中道民主人道主義)が組閣交渉を開始したと発表した。7月11日には交渉が妥結し、ドリモン首相(MR)が率いる内閣が発足した。新しく首相となったドリモン氏(35歳)は、水泳やトライアスロン、サイクリングなどが趣味。前政権では、予算・財務・空港・スポーツインフラ担当大臣を務めた。前政権を率いたルポ氏が所属する社会党(PS)は、第2党となるも、野党に下った。(2024年6月11日)

★総選挙の結果詳細はジェットロビジネス短信参照(2024年6月14日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/06/e63fe7201b892c3b.html>

3 2023年のベルギービール消費量・輸出量が激減

ベルギービール産業連盟は、2023年のビールの消費量および輸出量が大きく減少したという報告書を発表した。ビールの消費量は、過去20年間で減少し続けており、2023年の国内の消費量は前年比マイナス5.8%の653万2,000ヘクトリットルとなった。これまでは国内需要の落ち込みを輸出で補っていたが、輸出自体も2020年以降は4年連続で減少しており、特に2023年は域外への輸出量がマイナス22.2%と大きく落ち込んだ結果、輸出全体で前年比マイナス7.5%となった。ベルギービール産業連盟によれば、輸出の落ち込みは、賃金やエネルギーコストの上昇などで競争力が低下したためだという。また、世界的な購買力の低下を背景に、消費者は輸入ビールよりも割安な地ビールを選ぶ傾向にあるという。(2024年6月12日)

4 アントワープ・ブリュージュ港、グリーン・アンモニア輸送回廊に参加

アントワープ・ブリュージュ港は、スウェーデンのヨーテボリ港とノース・シー・ポート、デンマーク物流大手 DFDS で構成される「グリーン・ SHIPPING・コリドー」に参加すると発表した。同取り組みの下で、2030 年までに、スウェーデンとベルギーを結ぶ航路で 2 隻のアンモニアを燃料とする RORO 船を就航させる。また、3 港は電化とアンモニア燃料補給への取り組みを強化し、貨物船にとって世界初のグリーン・アンモニア輸送回廊を目指す。同回廊は、北欧のノルウェーからスペインまで、海、陸、鉄道のルートを通じて欧州 11 カ国を結ぶことも視野に入れている。(2024 年 6 月 14 日)

5 ブリュッセル・上海間の直行便が 4 年ぶりに復活

ブリュッセル空港は、4 年以上休止となっていた海南航空の上海からの直行便が再開したと発表した。海南航空は 2017 年 10 月から 2019 年秋までブリュッセル・上海間を運航しており、2020 年 3 月に予定されていた運行再開は、新型コロナ禍で中止されていた。今後は、ブリュッセル・上海間を週 4 便で運航する。ブリュッセル空港では、4 月にシンガポール航空が直行便を就航、5 月にはタイ航空がバンコク便を 12 月に再開させることを発表しており、アジア直行便のアナウンスが相次いでいる。(2024 年 6 月 19 日)

6 欧州委員会、ベルギーに財政赤字削減を命じる

欧州委員会は、EU の財政規律要件を遵守していないとして、ベルギーと他の EU 加盟数カ国に対する違反手続きを開始した。ベルギーの財政赤字は現在 GDP 比 4.4% で、EU が定める 3.0% を大幅に上回っている。フランスや、イタリア、ハンガリー、マルタ、スロバキア、ポーランドも同様。欧州委員会は、ベルギーをはじめとする上記の国々に対し、それぞれの財政赤字を削減する措置を取るよう要求している。適切に対応しない場合、中期的に罰金が発生する可能性があるものの、総選挙を経て、ベルギーでは新しい連立政権がまだ成立しておらず、現職の暫定政府は日常業務を継続するだけで、財政赤字削減のために必要な改革に着手することはできない。(2024 年 6 月 19 日)

2. ベルギーの経済・産業動向

1 機械大手ジョンコックリル、水素の電解槽生産拠点の拡大に向け増資決定

ベルギー機械エンジニアリング大手のジョンコックリルは、電解槽などの製造を行う子会社のジョンコックリル・ハイドロジェンについて、米国エネルギー技術企業の SLB がリード投資家となり、2 億 3,000 万ユーロの増資を行うことを発表した。ベルギー連邦政府のソブリンファンドの SFPIM、ベルギー南部・ワロン地域政府の公的ファンドのワロニー・アントルプランドルなども今回の増資に参加する。ジョンコックリル・ハイドロジェンは 5 メガワット (MW) の電解槽スタックや、30MW 加圧式アルカリ型電解槽などの製品ポートフォリオを持ち、世界各国で 1,300 台の納入実績を有している。(2024 年 6 月 3 日)

★詳細はジェットロビジネス短信 (2024 年 6 月 7 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/06/22709e1388660c05.html>

2 海洋建設大手ヤン・デ・ヌル、モロッコ・欧州間海底電カケーブル敷設で連携

オーストラリアの鉄鋼大手フォーテスキューとベルギー・ルクセンブルクを拠点とする海洋建設大手ヤン・デ・ヌル、オーストラリアの鉄鋼大手フォーテスキューと共同で、北アフリカのモロッコから欧州向けの海底ケーブルを使ったグリーン電力移送ビジネスで連携することに合意した。グリーン電力の供給拠点として期待される北アフリカと、需要のある欧州をケーブルで結ぶ計画だ。両社はオーストラリアなどで 20 年以上のビジネス関係を構築してきた。なお、現在も、モロッコとスペイン間では電力の輸出入が行われており、モロッコとしては、将来的に拡大が期待される再生可能エネルギー由来の電力の移送能力の強化が狙いと考えられる。(2024 年 6 月 10 日)

★詳細はジェトロビジネス短信 (2024 年 6 月 21 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/06/56fce67ce688d440.html>

3 ユミコア、EV 需要減を背景に 2024 年のバッテリー材料の販売量を下方修正

素材大手のユミコアは、電気自動車 (EV) 需要の急速な減速を背景に、同社の 2024 年のバッテリー材料の販売量が、前年と同等か僅かに減少する可能性があると発表した。一方で、ユミコアの基盤事業 (触媒、リサイクル、スペシャリティマテリアル) の 2024 年の業績は引き続き堅調で、全体として市場予想に沿ったものだという。ユミコアは、EV メーカーによる投資計画の減速および継続的な見直しを参考にしつつ、2024 年以降の成長予測を再評価するという。(2024 年 6 月 12 日)

4 2023 年のベルギーの起業数と廃業数は過去最高を記録

ベルギーのフランダース地域とブリュッセル首都圏地域、ワロン地域の個人自営業主と中小企業のための団体である UNIZO (フラマン語系) と UCM (フランス語系) は、情報機関 GraydonCreditsafe と共同で、起業に関する年次報告書「スターターズ・アトラス 2024」を発表した。2023 年の起業数は記録的な水準となった一方、廃業件数もかつてない程多く、倒産件数も増加傾向にある。2023 年に新たに設立された会社 (個人事業主含む) は、前年比 4.2% 増の 12 万 478 件となった。起業件数の増加は、今年も続くと予想され、第 1 四半期は約 2.0% (暫定値) 増となる見込み。特にフランダース地域での起業数が増加しているという。一方で、倒産を含む廃業件数も増加し、10 万 1,973 件に上り過去最多となった。UNIZO と UCM は、政府が引き続き起業を奨励し、特に個人事業主に対する所得税の軽減と、行政の簡素化を行う必要があると訴えた。(2024 年 6 月 19 日)

5 眼科医療製品アルコン、フランダースに新たな投資を発表

報道によれば、スイス・アメリカの眼科医療製品メーカーのアルコンは、フランダースのアントワープ州にある 2 拠点に合計 3,500 万ユーロを投資する。アントワープ南方のボルネムの物流拠点に新たな倉庫を開設するとともに、ピュールスにある生産施設を拡張する。同社はベルギーで、医療関係者が中身を自由に選択できる「カスタムパック」と呼ばれる眼科手術用キットの製造に注力している。これらの手術用部品の世界的な流通をボルネムの物流拠点担う。アルコンは現在、ベルギー国内で約 450 人を雇用している。(2024 年 6 月 2 4 日)

6 ドライバーへの薬物テストを拡大

報道によれば、警察は今後、ドライバーが薬物の影響下で運転しているかどうかを調べるため、唾液サンプル検査を拡大する見込み。また、警察がドライバーに薬物検査を実施するかを決定するためのチェックリストには、「混乱している」や、「瞳孔が開いている」、「口が乾燥している」などの項目が含まれる。薬物の影響下で運転したドライバーは、最高 1,600 ユーロの罰金に加えて、即時の運転禁止措置や、警察裁判所で軽犯罪を問われる可能性がある。一方で、合成麻薬と笑気ガスは唾液検査では検出できないため、運転手がまっすぐ歩行できるかなど、新たな確認項目が設けられる。また、外国人ドライバーは、これまでベルギーで運転中に薬物の影響下で捕まっても罰金を免れていたが、今後はその場で 1,260 ユーロの保証金を支払わなければならない。支払いを拒否したり、支払うことができない場合、車は没収される。

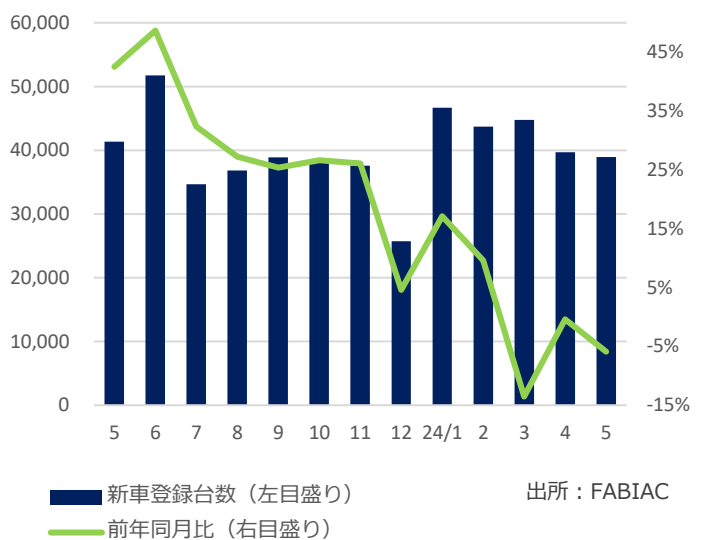
(2024年6月24日)

3. 月例経済指標

5月の新車登録台数 前年同月比 5.93%減

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば、5月の乗用車の新車登録台数は、3万8,907台（前年同月比 5.93%減）と縮小した。背景には、2023年の7月の税制変更に伴う社用車の駆け込み需要のため、2024年の業績が影響を受けたという。メーカー別では、BMWのシェアが11.59%と最大で、フォルクスワーゲン（10.65%）、アウディ（8.01%）が続いた。（2024年6月2日）

新車登録台数の推移



6月のインフレ率 前年同月比 3.74%上昇

連邦経済省の発表によると、6月の消費者物価指数は前年同月比で3.74%上昇した。連邦政府によるエネルギー価格に対する支援措置が終了した結果、ガスと電気が高くなり、インフレ率としては過去10ヶ月で最高水準に達した。天然ガス、電気、通信サービスパッケージ、菓子類、レストラン・カフェ、パン・穀物類、国内ツアー旅行、家電、衣類、ホテル宿泊料が押し上げ要因となった。車両燃料、果物、アルコール飲料、魚介類が押し下げ要因となった。（2024年6月27日）

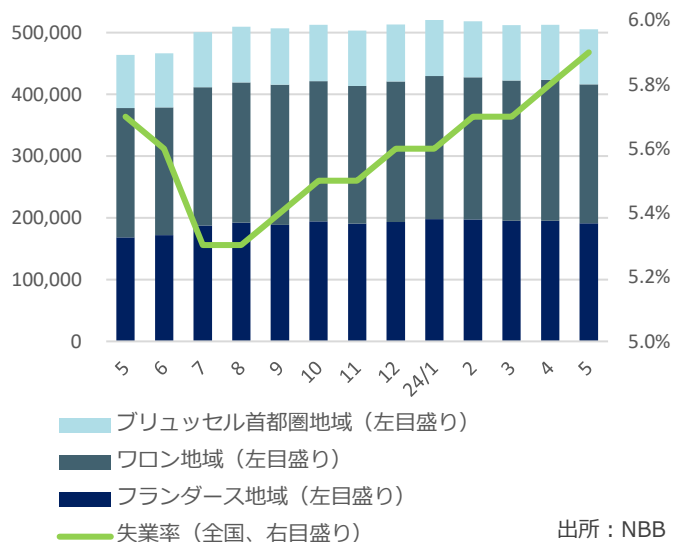
消費者物価上昇率（前年同月比）



5月の失業率 5.9%、前年同月比 0.2ポイント増

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の5月の失業率（季節調整値）は、前月から微増の5.9%（前年同月比 0.2ポイント増）だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の5月の失業率は、前年同月比（以下同じ）0.5ポイント増で14.7%、フランダース地域は、0.5ポイント増で6.5%となった。ワロン地域は、1.0ポイント増で13.9%となった。地域別の失業者数では、フランダース地域が19万1,480人、ワロン地域が22万4,716人、ブリュッセル首都圏地域が8万9,289人だった。

失業率と地域別失業者数の推移



（2024年6月6、12、18日）

※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

4. EUの動向 | JETRO ビジネス短信より

(1) 欧州委の研究機関、域内公的サービスのデジタル化の相互運用性効果を分析 (2024年6月3日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/80cda2b8b10c29ba>

(2) 欧州鉄鋼連盟、グリーン水素活用促進に向け、EU加盟国に提言 (2024年6月5日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/7634b0a1bcffc0a9>

(3) EU、エネルギー憲章条約から脱退へ (2024年6月5日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/8c04713ee11e983f>

(4) 欧州委、水素市場の透明化と事業者のマッチングに向けたメカニズム設置へ (2024年6月6日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/95b47954aafd13ed>

(5) EU、建物の脱炭素化を目指す指令施行、グリーン・ディール産業関連法の実施段階に注視
(2024年6月6日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/03bab6b48a62eeca>

(6) 欧州中央銀行、主要政策金利の引き下げ決定、4年9カ月ぶり (2024年6月7日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/44a028b9fc735daa>

(7) 欧州委の研究機関、「生態系総生産 (GEP)」の適用可能性を評価 (2024年6月7日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/903d18096105a930>

(8) 欧州議会選、中道右派が勝利、中道会派で過半数維持も極右躍進で右傾化顕著に (2024年6月11日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/7b38dedda6f690d1>

(9) 欧州委員会次期委員長の任命に向け政党グループ間の交渉が本格化 (2024年6月12日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/b6eccd2f80c6c3d8>

(10) 欧州産業界、多数派の親EU連立による産業競争力強化に期待 (2024年6月12日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/9b810d8c993a4ab4>

※欧州議会選挙については、特集「2024年欧州政治動向」もご参照ください。

<https://www.jetro.go.jp/biznews/feature/europolitics2024.html>

(11) 欧州産業界連盟、EUの経済安保戦略について提言書発表 (2024年6月12日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/74a62c7d94c0f253>

(12) 欧州産業界連盟、春季経済見通し発表、景気回復の兆し (2024年6月13日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/f50d92446942dec0>

(13) 欧州委、中国製BEVへの暫定相殺関税措置の概要を事前開示 (2024年6月14日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/a6e7a2efdbc33802>

(14) 第1四半期GDP成長率、EUとユーロ圏ともに前期比0.3% (2024年6月17日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/11945869e72ed2b2>

(15) 欧州委のCBAM 担当責任者、移行期間の報告実績を受けて、制度の検討状況説明 (2024年6月20日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/126a814ddc88cc48>

(16) 欧州鉄鋼・アルミ部門、中国などの過剰生産への対応で EU・米に交渉妥結を要請 (2024年6月20日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/12b3a70e8914e336>

(17) 中国、EU の中国製 BEV への相殺関税措置に反対、保護主義的と批判 (2024年6月20日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/0c8f424f9a7f16a4>

(18) 中国が EU 産豚肉にアンチダンピング調査、過剰生産能力を批判 (2024年6月20日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/ce72bedc900fd277>

(19) 欧州農業部門、中国の EU 産農畜産物・食品に対する AD 調査を懸念 (2024年6月20日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/5ea23147194c468a>

(20) ルーラ・ブラジル大統領が欧州訪問、EU との FTA 再交渉進展にも言及 (2024年6月21日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/06/2c82294ba9c94287.html>

(21) EU、アルジェリアの輸入制限に紛争解決手続き開始 (2024年6月24日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/1963775041688d85>

(22) EU、対ロシア制裁第 14 弾を採択、第三国向け LNG の域内積み替えを禁止 (2024年6月26日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/95e4aa7e03daf251>

(23) 欧州委、鉄鋼セーフガード措置の延長を決定、背景に中国などの過剰生産 (2024年6月27日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/3eee569762ff69c6>

(24) 中国製 BEV 追加関税について EU と協議開始を決定 (2024年6月28日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/ed689ba61c4e157b>

(25) 世界の政治・経済日程 (2024年7~9月) (欧州) (2024年6月28日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/06/2aab1ba9c3b09e2d.html>

★次のページにレポート・イベント等のお知らせがあります。

5. お知らせ

★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EUの最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第1木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお問い合わせください。

調査レポートのご案内

- 地域・分析レポート「EUのエネルギー憲章条約脱退が意味するもの」（2024年6月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/7cc4edb7f2600c12.html>
- 調査レポート「EU ETSの改正およびEU ETS II創設等に関する調査報告書」（2024年5月）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/01/5042c43437befe8d.html>
- 調査レポート「CSRD適用対象日系企業のためのESRS適用実務ガイダンス」（2024年5月）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/01/80fd13a160c18b11.html>
- 地域・分析レポート「世界をリードするEUのカーボン・プライシング」（2024年5月）
(1)EU ETS
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0502/cdd0133a4a27e311.html>
(2)CBAM
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0502/8cad893cb89c55c2.html>

※以下の特集、調査レポートもご参照ください

特集「新たなステージに入った世界のカーボンプライシング」

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0502.html>

特集「EUの炭素国境調整メカニズム（CBAM）の動向と各国の反応」

<https://www.jetro.go.jp/biznews/feature/cbam2023.html>

調査レポート「EU炭素国境調整メカニズム（CBAM）の解説（基礎編）」（2024年2月）

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/01/b56f3df1fcebced.html>

- 欧州各国の 2023 年自動車市場動向（地域・分析レポート）
 - ・ EU：「自動車市場が回復軌道に、販売台数は 4 年ぶり前年比増」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/543c57d31c395017.html>
 - ・ ドイツ：「2023 年の乗用車市場（前編） ドイツ国内乗用車生産・新規登録台数が好調」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/63944d0ef292d580.html>
 - ・ フランス：「2023 年の乗用車新規登録台数、BEV が急伸」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/b10ce5dfe80d30af.html>
 - ・ 英国：「2023 年の新車登録と生産台数は堅調」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/4ff90d8ec8b4fddb.html>
 - ・ ベルギー：「2023 年新車登録台数、前年比 30.1%増の V 字回復」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/0d9f7e1ecd511607.html>
 - ・ ルーマニア：「新車登録は EV 含め増加、自動車生産は過去最多を記録」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/f97d05b21426032c.html>
 - ・ オランダ：「2023 年の新車登録台数は前年比約 19%増、EV が好調」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/f4a4ea65131ab20a.html>
 - ・ チェコ：「2023 年の乗用車生産・新規登録台数ともに約 15%増」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/390027d639340380.html>

ジェトロでは、上記以外にも様々な欧州関連の調査レポート、地域・分析レポートを公開しています。以下 URL よりご参照ください。

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/europe/reports/>

<https://www.jetro.go.jp/areareportstop/europe/areareports/>

ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。

ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）

JETRO ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、または進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルテーションサービスを提供しています。2 時間まで無料でご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※原則として中堅・中小企業を対象としていますが、大企業も対象とできる場合があります。詳細はお問合せください。

サービス詳細・お申込み

<https://forms.office.com/r/MDqXipfgZf>

お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp)